

東京リチュアルワークショップ

自分の
儀式の
創り方

VOL.1 「儀式って？ -しくみと方法-」

TOKYORITUAL

理論編

ぎしきって？

意図を溶かし込んだ行為

たとえば…

「むかし、こんなことがあって、いまも、そうです」- 物語の反復・再現

「わたしは、これを望みます」- 祈り・願望の演劇的表現

「いま、ここで、そうします」- 決定・承認・実行

「わたしは、かつてのわたしではありません」- 成長・変容

このような、元型的なまでに単純で、それ故に意識 / 無意識に強く働きかける心的ドラマを、自身が演出家として、俳優として、観客として、演じます。

「演じる」ことと「なる」ことに、普通思われているような境界線は実はありません。

儀式はどこにあるの？

私たちの日常の、底に。

秩序（リアリティ）の基盤となる儀式

- ・おはようございます / おやすみなさい
- ・いただきます / ごちそうさま
- ・「もしもし？」
- ・名刺交換

わたしたちは「おはよう」「おやすみ」と発話して、一日の開始と終了を宣言します。この宣言によって家族と自分の行動のモードを変化させるだけでなく、自身の身体エネルギーのスイッチオン / オフを行います。

「いただきます」「ごちそうさま」という定型文句、呪文には、食事の開始と終了を区切るという役割だけでなく、自分と世界の生と死のサイクルの確認、世界のありよう、自分との関係性を確認し、それが健やかであるようにという祈念がこめられています。

電話での第一声は、「もしもし？」という定型文、通信開始の呪文です。これにより、これから通信が始まること、相手が自分の声を聴いていること、今が通信に相応しい時であること、などを瞬時に確認します。

名刺を交換する前と後では、関係性が変化しています。誰でもない他者ではなく、顔見知りやそれ以上の関係性が承認されるのです。

このように、「象徴化・様式化され、それ自体としては無意味な発話・行為」によって、わたしたちの日常の多くが区切られ、進められ、変化させられています。このような方法で継続・維持されているのが、わたしたちの「日常」「秩序」「現実感」です。

朝が朝であり、夜が夜であることは、
儀式的に宣言・承認されているのです。

現代における儀式の意義

儀式は秩序の基盤に作用するものなので、儀式執行者（司祭）の権威（Authority）は共同体のリーダー、責任役（家長、教会、寺、学校、行政など）が保持し、継承します。

(Ordination) 宗教的共同体や強権的な政府が大きな力を持たない個人主義的民主主義社会では、主に宗教的権威くらいしか、いわゆる「司祭の権威」が意識されることはまれでしょう。

ルネサンス、18-19世紀、20世紀を通じて発展してきた「オカルトリヴァイバル」「ネオペイガン」運動は、キリスト教的社会の基盤にある強固な「司祭権」を個人の手で奪回し、そこから新たに共同体を生成していこうとする衝動の顕れとみることができます。

現実を定義し、営む「儀式」という装置を、既存の宗教的権威や様々な形の権力機構に依存することなく、自分自身の正統な権利として活用すること。これが現代日本においてオルタナティブな儀式の方法論を模索する大きな意義となるでしょう。

儀式体験が個人にもたらす体験

- ・ 日常の区切りとしての非日常の挿入 - 社会的自分と主観的自分のスイッチ、調整 -
- ・ 内なる声をきく。それを表現する。 - 無意識との語り、活性化 -
- ・ 「聖なるもの」との接点 - 富や救済をもたらすものとの交感 -

司祭、犠牲、祝福を授かるものを一人全役で行う個人の儀式

魔術儀式 = 魔術的意図を溶かし込んだ行為

- ・ 意図の設定 (願望達成 / 助力を乞う / 聖別 / イニシエーション etc.)
 - ・ その成就のイメージを表現、上演 (象徴的なドラマの構築、遂行)
 - ・ 無意識への刻印、沈殿 (「聖なる時空」の体験)
- ↓「かくあれかし」
- ・ 現実の変容

魔術儀式のエレメント

いわゆる近現代西洋儀式魔術は、19世紀フランスでのロマン主義的オカルト運動と、それを受けてのイギリス秘密結社・サロン文化によって醸造されました。特にイギリス「黄金の夜明け団」は中世魔導書 (グリモワ) や民間伝承の断片を体系化し、システムティックな儀式魔術のフォーマットを完成させた面で、現代の秘儀結社文化に大きな影響を残しています。

- ・ 聖化 : 視覚化による自己聖別「中央の柱」
- ・ 祓い : 4 元素論による場の浄化「五芒星儀式」
- ・ 召喚 : 7 惑星による場の称揚「六芒星儀式」
- ・ 試練・献身 : クロウリー「フェニックスのミサ」「日拝」
- ・ 占託 : OTO 季節儀礼のビブリオマンシー
- ・ 瞑想・トランス : 「聖なるもの」との交感

テクニック :

- ・ Verbal Statement (朗唱 / 所作)
- ・ Non-verbal Setting (アルター / 香 / 色)
- ・ 聖なるものの媒介 (火 / 音 / オラクル)
- ・ 視覚化
- ・ 体術 (呼吸、動き)

儀式の構築手順

「なんのために」
目的の選択
↓
目的の洗練
↓
真の望み

「いつ」

儀式をいつ執り行うのかを決めましょう。

個人的な記念日や、なにかしらのタイムスケールから望みにふさわしいと思える時期、日時を選べば、より必然っぽさを演出することは出来ます。儀式執行の日取りを選ぶということそのものもとても魔術的な行為とも言えますが、基本的に「思いたったが吉日」です。直感に従いましょう。

また、数日かけて行う儀式の場合は、はじめから終了期日をきめて行うと良いでしょう。

季節のお祭り

| | |
|-------|---------------|
| ソーウィン | 死の国との交流・お盆 |
| 冬至 | 光の時のはじまり・誕生 |
| イモルグ | 春の予感 |
| 春分 | 復活 |
| ベルテイン | 夏の予感・青姦 |
| 夏至 | 闇の時のはじまり・快感の最 |
| 高潮 | |
| ラマス | プレ収穫祭 |
| 秋分 | 収穫祭 |

月の満ち欠け

| | |
|------|-------------|
| 満ちる月 | なにかを増やしたいとき |
| 満月 | 達成 |
| 欠ける月 | なにかを減らしたいとき |
| 新月 | 開始 |

惑星時間

| | |
|----|--------------------------|
| 月 | 健康・引っ越し・旅・失せもの・瞑想 |
| 火星 | 勇気・冒険・スポーツ |
| 水星 | 学業成就・ひらめき・スムーズなコミュニケーション |
| 木星 | 叡智・楽観性・お金 |
| 金星 | 愛・交友関係・芸術的な成功・楽しみ・よろこび |
| 土星 | しつけ・悪癖・むずかしい問題の解決 |
| 太陽 | 成功・啓蒙・バイタリティ・勇気 |

空模様

| | |
|----|-----------|
| 牡羊 | はじまり |
| 牡牛 | 満足 |
| 双子 | コミュニケーション |
| 蟹 | 家 |
| 獅子 | 意志 |
| 乙女 | 整理 |
| 天秤 | バランス |
| 蠍 | 絆 |
| 射手 | ここじゃないどこか |
| 山羊 | 頂点 |
| 水瓶 | 新時代 |
| 魚 | 無意識 |

儀式の構築手順

「なにをやるか」

「なんのために」で、あなたの望みを明確な言葉にしました。

ここでは言葉をもう一度解体し、なにかしらの身体を使った作業に再構築してみましょう。

頭の中でイメージするだけでなく、実際に肉体を伴い行動することで合意的現実にあなたの望みを落とし込みます。

・ヒント

類感魔術、感染魔術

プレイセラピー

ごっこ遊び など

「誰の名の下に」

女神、男神、HGA、ハイヤーセルフ、地球、月、星、宇宙、銀河、悪魔、天使 etc…

あなたの望みに最も親身に尽力してくれそうな存在をえらびましょう。

祈りは「自力ではもうどうにもなりません！」と自我を投げ打ち、自分を越えた大いなるものにすべてを委ねる行為です。「他力本願」という言葉は普通あまり良くないイメージをもって使われますが、本来「他力」とは仏教用語で「菩薩の力」をさします。

胸を張って白旗をあげましょう。

| | |
|--------|------------|
| 惑星神 | |
| マルス | 攻撃と勝利 |
| ヘルメス | 早さとなめらかさ |
| ジュピター | 拡大・やさしい父性 |
| サトゥルヌス | きびしさ・こわい父性 |

| | |
|-------|----------|
| 月神 | |
| アルテミス | 純血 |
| ディアナ | 満ち足りた女性性 |
| ヘカテ | 魔力と魔女の叡智 |

| | |
|-------|-------|
| 北欧神 | |
| オーディン | 智慧 |
| トール | 勝利 |
| フレイヤ | 魅力、魔力 |
| フリッグ | 豊作、妊娠 |

| | |
|-------|----------------|
| 天使 | |
| ラファエル | あらゆる病を癒したいとき |
| ミカエル | 勇気と勝利を求めるとき |
| ガブリエル | 良き知らせをうけ取りたいとき |
| サマエル | 墮天使信仰したいとき |

| | |
|-------|------------------|
| 悪魔 | |
| ロノウェ | 口達者になりたいとき |
| オロボス | 敵を味方につけ、成功したいとき |
| シトリー | 望む相手を目の前で裸にしたいとき |
| レラージュ | 弓矢を用いて戦争に勝ちたい時 |

無意識への刻印のコツ

儀式の効果をよりビビッドに体感するためには、体験を無意識に刷り込み、深層意識に印象を刻み付ける必要があります。効率よく儀式を成功させるためのポイントは以下三点。

異化

日常生活から瞬間的に意識を切り離すために

すべてが起こりうる現実世界から隔離された空間

ex) 魔法球の設定、服をぬぐ、キャンドルをともし、びっくりさせる

コントラスト

圧縮された意識状態を現実にソフトランディングさせるためのゆるやかな曲線

山の部分の高さ（＝高揚感）が大切

アンカリング

儀式終了後へのおみやげ

とらえどころのない「意識の状態」を、見て触れて感じられるものに置き換える

「思い出す」スイッチを作る

儀式の基本フォーマット

準備ー祓いー作業、宣言ー祓いー片付け

準備ー魔法球作るー宣言、作業、宣言ー魔法球解くー片付け

ex) 食事の儀式、お守り作りの儀式

■エクササイズ（15分）

以上を踏まえた上で儀式をつくってみましょう。

「誰の名の下に」

・呼びかけの祈禱文

「いつ」

「なんのために」

・宣言文

「なにをするのか」

・必要なもの

・作業内容と手順